

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：(2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【3】 新技術の活用】

新型遮音壁の開発によりコスト縮減

概要：交通量の増大などにより騒音の環境基準を超えた箇所の遮音壁

(従来)

遮音壁の嵩上げ

(新)

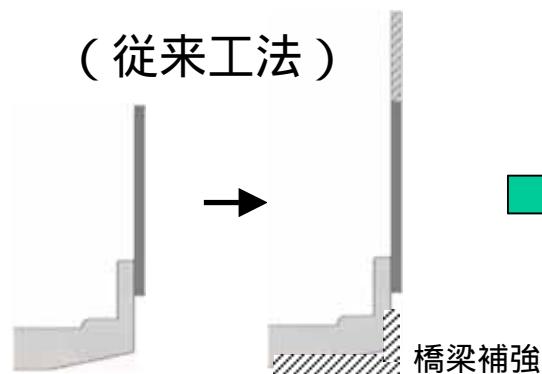
新型遮音壁の設置

効果

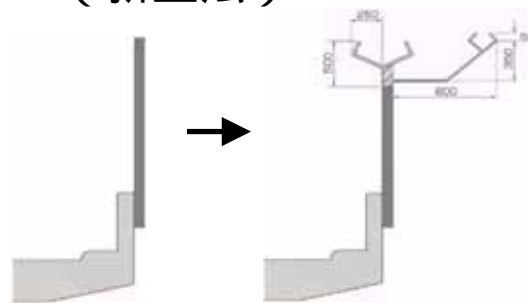
遮音壁の嵩上げが必要となった場合、そのまま遮音壁の嵩上げを行う代わりに、新型遮音壁を設置することでコスト縮減となる。コスト縮減額 119億円
直接到達する音の影響を受ける住居等がない場合、新型遮音壁の騒音低減効果は、遮音壁の嵩上げ時の騒音低減効果と同等である。
沿道住民の日照障害やドライバーの圧迫感の問題を解消することが可能である。

一例

(従来工法)



(新工法)



【設置状況】

